

特別支援教育 講演会



令和6年8月 27日

本校では、家庭・地域との連携のもと、開かれた学校づくりを進めています。相談支援部では、特別支援学校におけるセンター的機能の一つとして令和6年8月27日（火）に特別支援教育講演会を本校体育館にて開催しました。西・中村・中川区などの小・中・高等学校や幼稚園の先生方、本校の教職員など約130名の方に参加していただき、学びを共有することができました。

また、講演会と合わせて開催した教材・教具展示会では、教材・教具の紹介や地域の学校・園の先生方と本校の職員の交流を通して、特別支援教育についての理解を深め合うことができました。

<講演テーマ>

「子ども理解を大切にしたい関わりって何だろう?!」

<講師>

石川道子先生（小児科医師）

- ・ NPOアスペ・エルデの会 臨床総括ディレクター
- ・ 名古屋市教育委員会教育支援嘱託医
- ・ 海南病院小児科嘱託医
- ・ 神戸市特別支援教育相談センター医療相談員など

特別支援教育講演会



<参加された方の声>

- ・ 石川先生の講演は、日々子どもたちの顔が浮かぶ、とても勉強になる内容でした。2学期以降本校の先生方にも発信していきたいと感じました。
- ・ モデルを見せることの大切さを感じました。また、生徒のできないことの中には、実は発達特性からくる困難さを乗り越えようと頑張っていることもあることを、椅子に座れない生徒の例から学びました。

（講演会後のアンケートより）

教材・教具展示会



<参加された方の声>

- ・ 実物を見ることができて、よかったです。いただいた資料も今後の参考にしたいと思います。
- ・ 子どもたちの興味をひく工夫された教材や教具ばかりで、とても参考になりました。
- ・ ICTのことなど、普段支援員さんがいてもゆっくりお話を聞くことができないので、具体的なアプリの使い方を知ることができて、よかったです。

（展示会後のアンケートより）